



7月も後半に入り、どの学級も1学期の学習や生活のまとめを意識し、各教科への取り組みを頑張っています。コロナウイルスの影響でいろいろな活動が中止になっていましたが、少しずつ活動の幅を広げることができるようになってきました。外に出ての活動では、子ども達の生き生きとした笑顔が見られ、とてもうれしく思います。

臨時休校が長く続いたことで、今年は1学期が8月7日(金)までとなります。例年と違う生活になりますので、お子様の健康管理には十分ご注意ください。学校でも子ども達が安全安心に生活できるよう引き続き支援してまいります。

7月の教育活動



7/1に、延期になっていた眼科検診を実施しました。みんな静かに移動し、素早く診ていただきました。



1・2年生は、生活科で身近な生き物を採りに出かけました。その後、観察したり調べ活動に取り組んだりすることで、生命を尊重し、身の回りの生き物と親しむことができました。



昼休みにランチルームで、図書委員による「本の読み聞かせ」がありました。低学年の子を中心に集まり、楽しい時間を過ごしました。

7/7に七夕集会を実施しました。コロナの影響で、今年は6年教室と各教室をつないでリモート形式で行いました。いつもと違う形でしたが楽しむことができました。



7/10、5年生が社会科の学習でカントリーエレベーターの見学に行ってきました。JAの方に、施設の仕組みを隅々まで見せていただき丁寧に説明してもらいました。



6年生が、校内ミニ陸上大会を実施し、種目毎に記録を取りました。最後に実施した紅白リレーは大接戦で、大変盛り上がりました。

1年生11人は、ロータリークラブの方から、「にゅうがくおめでとう」のノートと鉛筆をいただきました。



授業の挑戦

6年 社会科の実践より
「武士の世の中へ」



浅野先生は、「操作活動や資料の読み取りを通して、日本近海の漁業に気付くことができる」をねらいとし、活動を組み立てました。子どもたちが視覚的に対比できるよう図や写真の提示を工夫したり、操作活動を取り入れたりとすることで、子どもたちの興味関心を高めることができました。また、授業の中では、子どもたちの意見や考えがたくさん出され、主体的に課題解決をしようとする姿がみられました。

本校の主な研究
主体的・対話的で深い学びの実現
～ 伝えて つなげて 深めよう ～

秋元先生は、「資料を適切に読み取ったり、自分の考えを分かりやすくまとめたりできる」子どもを目指し、社会科を柱として研修を積んでいます。研究授業では、社会的な見方・考え方を働かせて話し合う活動に焦点を当てて活動を展開しました。子どもたちは、これまで学習してきた貴族のくらしと比べながら、「武士はどのような人々だったのか」に着目して学習問題を作ることができ、武士の世の中への興味・関心が高まりました。



5年 社会科の実践より
「水産業のさかんな地域」



体育専門アドバイザーの先生が来校しました！

7月7日（火）と9日（木）の2日間、体育専門アドバイザーの先生に来校していただきました。昨年に引き続き、子どもたちに運動のコツやポイントを教えていただきました。

2年生以上の子どもたちからは「今年もよろしくお願いします。」という声が聞かれました。先生と一緒に運動することをとても楽しみにしていたようです。



1・2年生は、「表現遊び」をしました。動物になりきって、楽しく表現することができました。じゃんけんを取り入れた活動も面白かったようです。

4年生は、「鉄棒運動」に取り組みました。握り方や脇を締めることなど逆上がりのコツを教えてくださいました。できるまで何度も挑戦していました。



5・6年生は、バトン以外の物（ボールやバットなど）を使ってリレーを行いました。バトンを渡すコツを学びながら、友達と協力して楽しく活動できました。



八沢の光

校外学習や代替行事の実施、外部講師の派遣など、少しでも例年どおりの学校生活に戻そうと計画しましたが、その都度「新しい生活様式」をどう留意するか試行錯誤した月でした。例年でありましたら来週から夏休みに入りますが、今年度は8月まで学校があることは以前お知らせしたとおりです。私自身8月まで学校があることは未知の世界でありますし、不安があることは、子ども達も保護者の皆様におかれましても同様だと思います。やはり一番は熱中症対策だと思います。校舎・体育館に熱中症指標計を設置し、随時計測し、安全に十分注意して、子ども達が元気に学校生活が送れるよう支援していきます。（文責：T）